



みんなの声が原動力！ 原のりひこ 市政レポート 2022.9(No.8)

原のりひこ
公式サイト



Facebook



発行：原 紀彦 岡崎市細川町字さくら台8-3
連絡所：〒471-0832 豊田市丸山町カバハウス 2F
トヨタ自動車労働組合：TEL (0565)24-1111(代)
✉：norihikohara5219@gmail.com

岡崎市議会
9月定例会
報告

新型コロナウイルスワクチン接種の体制整備、 水道の基本料金 100%減額による市民生活への 経済的支援など、100億円を超える補正予算を議決！

一般会計補正予算 主な事業

○水道の基本料金 100%を4カ月間減額！…収益的収入△5億4,545万円

開始時期は、(一号線より)南側は12月から4か月分、(一号線より)北側は、来年1月から4か月分を減額。(例：口径20mmの場合 1,045円/月×4か月分で△4,180円程度)



○宅配ボックス購入補助！…750万円

運輸部門からの温室効果ガス排出量は年々増加傾向となっており、その抑制には積極的に取り組む必要があるため、各家庭の宅配荷物受取りのための「宅配ボックス」の設置に対し補助金を交付する。

【補助額】購入額の1/2(上限1万5千円)
【対象者】市内に住所を有する個人
【条件】1世帯につき1回
【期間】令和4年10月1日～令和5年2月末

○「どうする家康」活用推進事業！…1億8,371万円

どうする家康大河ドラマ館のオープンに向け、展示物の設置などの準備を行うとともに、オープニングイベントやキャンペーンなどを行う！

増加が見込まれる岡崎公園の観光客に対応するため、観光や店舗の案内、地域産業の紹介などを行うための仮施設を二の丸広場に設置いたします。また花時計の南側へ仮設トイレを設置いたします。

令和5年1月21日オープン!



○(岡崎)図柄入りナンバー、プレートデザイン導入 …110万円

子育て世代・将来の車の購入層となる若者が取り付けたくなるデザインの制作へ！
また、「走る広告塔」として、地域の魅力を全国に発信する。交付時期は令和5年10月頃を目指す。



○住民税均等割のみ課税世帯に対する生活応援金の給付…2億8,730万円

新型コロナウイルス感染症やコロナ禍における物価高騰等の影響により生活に困窮する世帯が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう生活応援金(1世帯当たり5万円)を支給する。

○新型コロナウイルスワクチン接種の体制整備…8億598万円

オミクロン株対応ワクチン(オミクロン株[BA.1]と従来株に対応した2価ワクチン)の接種について、今年10月半ば以降を目途に、初回接種を完了した全ての住民を対象に実施できるように整備を進める！



○貸切バス事業者支援金…4,900万円

新型コロナウイルス感染拡大の影響により需要低迷が続く市内観光バス事業者に対して、バス保有台数に応じた支援金を交付する。





共働き世帯の声を代弁！

令和3年度から待機児童発生！保育体制の充実について、市長の思いとは？…どうする岡崎！

市長の思いとは？

Q. 子育て家庭の悩みや要望を聞く場として、図書館交流プラザリぶらにて、「みんなの声で作る！おかしきこそだて会議」が開催された。イベントに寄せられた要望や共感が多かった意見とは？

A. 共感が多かった意見として、育児休業中は家庭での保育をお願いする「育休退園」に対する改善要望が挙がった。

答弁を受けて一言!!

まさに当事者たちの生の声で、本当に貴重なご意見だなと感じた。類似課題の、兄弟姉妹別々の園利用については、毎日の朝・夕と2つの保育園の送迎や、行事が重なった時の対応など、「とにかく毎日が慌ただしくて心に余裕を持って仕事に向き合っていない」このような市民からの声を頂いている！

Q. 会場で直接話を聞いた中根市長はどう感じたのか？今後岡崎市をどのように取り組んで行きたいのか？

A. 「育休退園」は、私の積年の課題であり、待機児童の解消と同様に何とか解決していきたい。

私立幼稚園の認定こども園への移行を働きかけるなどして保育の受け皿を増やすための施策を実施していく！

「原のりひこ」に声を届けよう！

原のりひこ後援会 LINEアプリ登録方法

①右のQRコードから友達登録！



②友達登録後、ガイダンスに従い手続きをお願いします！

③ご意見やご要望など送信ください！



待機児童解消に向けた取組とは？

Q. 岡崎市の兄弟姉妹が別々の園を利用している状況と、育休退園といわれる育児休業中の保育園の継続入園状況、待機児童解消に向けての今後の取組は？

A. (兄弟姉妹が別々の園を利用) 令和4年4月時点で 65世帯は別々の園を利用されている。

(育休退園) 3歳未満児は、保育需要が高く、令和4年度は0歳児が15名、2歳児が28名の待機児童が発生している。そうした状況の中で、育児休業中については家庭での保育をお願いしている。

利用希望者が多く、なかなか利用できないという声は聞いているが、保育士の配置や保育室の面積上、受入れを増やすことが難しい状況。育児休業中の継続入園、兄弟姉妹の同一園への入園のどちらも受入れ枠の確保が重要となる。

今後については、私立幼稚園の幼保連携型認定こども園化を進める。私立みやこ幼稚園と私立やなぎみやこ幼稚園が令和5年4月からの移行に向けて、9月中旬から申込の受付を開始し、開園後は保育を必要とする0歳児から2歳児についても受け入れを進める予定。

幼稚園の認定こども園化や既存施設の改修等により受入れ枠を拡大し、保育の需給バランスを見て、0～2歳児クラスの育児中の継続入園や、保育園や幼稚園を利用せずにお子さんを保育している家庭の負担軽減策を検討していく！